

担当：札幌市消費者センター調査指導係
TEL 728-2111 FAX 728-2112

平成 21 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の物価の動向を的確に把握し、市民に情報提供していくため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) カネシメ高橋水産(株) | (5) ホクレン農業協同組合連合会 |
| (2) 札幌食肉卸業協会 | (6) 社)北海道エルピ°ガス協会石狩支部 |
| (3) 札幌地方石油業協同組合 | (7) 北海道製麺協同組合 |
| (4) 日糧製パン(株) | (8) 丸果札幌青果(株) |

2 調査時期

平成 21 年 12 月上旬 (平成 21 年 12 月 8 日、上記団体と懇談会を実施)

3 概要

(1) 青果物

調査品目の 18 品目中、安値・やや安値は 9 品目、前年並みは 5 品目、高値・やや高値は 4 品目であった。総じて安値・やや安値の品目が多いが、道内産が主なばれいしょ、たまねぎは生育期の長雨の影響により収穫量が減少したためやや高値となる見込み。

(2) 水産物

調査品目の 14 品目中、安値・やや安値は 9 品目、前年並みは 4 品目、高値・やや高値は 1 品目であった。総じて安値・やや安値の品目が多い。秋さけについては、今年の前年の当初の予想がはずれ、道内での収量が昨年より多かったことから新巻さけはやや安値、いくらについては安値となる見込み。水産物全般について、安値傾向にあると見られる。

(3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、安値・やや安値は 6 品目、前年並みは 1 品目、高値・やや高値はなかった。高額な商品は売れない環境にあり、国産牛肉は値を下げている状況。国産豚肉は出荷頭数が増えており安値となる見込み。

(4) その他食料品

道産のもち米、道産のそば粉・小麦を使用した生そば、ラーメンなどは高値・やや高値だが、輸入もの小麦粉、パンなどは安値・やや安値となる見込み。

(5) 石油製品

灯油、軽油は安値・やや安値、レギュラーガソリン、プロパンガスは前年並みとなる見込み。また、在庫量は充分にあり供給不足の懸念はない。

平成 21 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
青果物	みかん、ごぼう、里いも みつば、だいこん、 きゃべつ、はくさい、 レタス、さつまいも	生しいたけ、にんじん れんこん、 たけのこ（缶詰）、 ほうれん草、	ばれいしょ、たまねぎ、 長ねぎ、きゅうり
水産物	新巻さけ、いくら、まぐろ、 いか、赤えび、たこ、 ほたて、たらばがに、 板かまぼこ	味付け数の子、飯寿司、 はまち、スモークサーモン	こんぶ
畜産物	国産牛肉、輸入牛肉、 国産豚肉、輸入豚肉、 国産鶏肉、輸入鶏肉	ロースハム	
その他 食料品	小麦粉（輸入もの）、 パン	もち米（府県産米）、鶏卵、 生そば （輸入そば粉使用麺） そば粉（輸入もの） ラーメン （輸入小麦使用麺）	もち米（北海道米）、黒豆、 生そば （道内産そば粉使用麺） そば粉（道内産） ラーメン （道内産小麦使用麺）
石 油 製 品	灯油、軽油	レギュラーガソリン、 プロパンガス	

※ 価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比±5%未満
 やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満
 安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成21年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

	品目	価格見通し	需給動向
青	みかん	安値	作況は各産地とも生育期の旱魃の影響によりやや小玉傾向でM～Sが中心となるが、各産地とも表年により入荷量は前年に比べ10～15%の増加が見込まれる。価格は前年に比べ安値が見込まれる。
	ごぼう	やや安値	作付は各産地とも前年に比べやや増反傾向。作況は各産地とも生育期の天候不順の影響によりやや細身傾向でL～Mが中心となるが、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年に比べ安値が見込まれる。
	里いも		作付は各産地とも前年に比べ減反傾向。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年並みから前年よりやや増加が見込まれる。価格は前年よりやや安値が見込まれる。
	みつば		作付は一部を除き各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育順調だが、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	だいこん		作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
果	きゃべつ	(北海道もの) やや安値	北海道ものの作況は生育期の天候不順の影響からやや小玉傾向が見られるが、入荷量は前年並みが見込まれ、価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
		(本州もの) 安値	本州ものは作付はやや増反傾向。作況は生育期の天候に恵まれ大玉傾向となり、入荷量は前年に比べ増加が見込まれ、価格は安値が見込まれる。
	はくさい	やや安値	作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	レタス		作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	さつまいも		作付は各産地とも前年に比べ増反傾向。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	生しいたけ	前年並み	作況は生育順調で、入荷量は前年並みから前年よりやや増加が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	にんじん		作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は昨年並みが見込まれる。
	れんこん		作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	たけのこ (缶詰)		中国産の孟宗筍は生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量、価格ともに前年並みが見込まれる。

平成21年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
物	ほうれん草	前年並み	作付は各産地とも前年に比べやや減反傾向。作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ前進出荷となり、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	ばれいしょ	やや高値	作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の長雨の影響により収穫量減少し、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	たまねぎ		作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の長雨の影響により収穫量減少し、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	長ねぎ		北海道ものの作況は、露地ねぎは生育期の天候不順の影響により品質低下が多く見られ終了期を迎え、軟白ねぎは生育順調で、前年並みの入荷が見込まれるが、価格は総じてやや高値が見込まれる。 本州ものの作況は生育期の天候不順の影響により細物多く、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
	きゅうり		作付は前年に比べ減反傾向。作況はハウスの加温暖房費の節約から生育に遅れが見られ、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
水産	いくら	安値	北海道秋鮭の水揚げ増のため昨年対比20～30%の単価ダウン。昨年物もダブつき需要減。
	赤えび		天然物（アルゼンチン、カナダ、ロシア、北欧）は前年より安値傾向。養殖物は円高の影響もあり値頃感がある。
	ほたて		歩留低下で大型サイズの生産が減少しているが、小型サイズの価格は安値推移する予想。
	たらばがに		ロシア産たらばの水揚げ激減だが、消費の低迷と円高により昨年よりも安値になっている。年末にはショート感もある。
	新巻さけ	やや安値	北海道秋鮭の水揚げ増のため価格安になる。小箱10kgの需要が多いが、大箱は苦戦気味。
	まぐろ		（本まぐろ） 消費鈍く、在庫も多いため安値 （鉢まぐろ、黄肌まぐろ） 搬入量が少なく浜高だが、消費が悪く逆ぎやの状態。
	いか		順調な水揚げがあり、相場も安定している。11～12月は三陸、九州に帰船するため、相場はやや高値、水揚げ少ない。
	たこ		昨年の浜値に比べても安値傾向のため、製品の価格も前年よりはやや安値で推移する予想。
	板かまぼこ		すり身原料も安定し価格も下げ、消費も伸びている。正月用に順調な消費を期待。
	味付数の子		前年並み
飯寿司	正月商材としてその人気は高いが、量を食わなくなったこと、低価格志向等で販売数量減少。		

平成21年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
物	はまち	前年並み	夏場の赤潮で在池尾数は大きく減少したが、秋場の値動き悪く、年末の価格は昨年並みか昨年よりやや高いくらいになる予想。
	スモークサーモン		価格の推移が少ない商材で、今年も前年並みに消費されると予測される。
	こんぶ	やや高値	水揚げ減少で浜高、製品価格も上昇。正月用になくってはならない商材で注文はあるが数量減。
畜産物	輸入牛肉	安値	冬の鍋物需要に向かない、焼肉需要はシーズンオフ。販促による需要の喚起がしにくく、消費不振が続くものと思われ先安感あり。
	国産豚肉		出荷頭数が潤沢のため、例年の夏相場高がなく価格低迷中。政府の調整保管が11月より発動され相場を支えている状況。年末も相場軟調。
	輸入豚肉		国産豚肉相場の低迷下の状況からすると、安くても動きが鈍い。相場も軟調。
	輸入鶏肉		市中在庫は相変わらず多く、軟調か下げ傾向。業務筋中心、一般小売では不人気。
	国産鶏肉	やや安値	年末に向け相場上げ基調にあるが、輸入モモ肉の国内在庫過多から足取りは重い。ムネ肉や副産物の過剰感あり、それらは在庫処分で投げ売り一段安。
	国産牛肉		消費者の生活防衛意識が強く、高額商品が売れないため、牛肉全般に価格下落現象が続いている。例年より安くなっているとは言え、価格帯は肉の世界では一番高いので一段と売れ行きは不調。
	ロースハム	前年並み	プライベートブランド化が進んでおり低価格路線。ナショナルブランドの価格は変化なし。
その	もち米	(北海道米) やや高値 (府県産米) 前年並み	(北海道米) 作況は生育期の天候不良により、著しい作柄低下が見込まれる。価格は前年に比べやや高値。 (府県産米) 平年並みの作柄が見込まれ、価格は前年並み。
	黒豆	やや高値	年末需要に加え、お茶、きな粉などの通年需要が定着化している。今年産の不作により、価格は堅調に推移する見通し。
	鶏卵	前年並み	今年度は全国同様に消費低迷・生産過多の状況にあり、低卵価で推移している。但し、年末については特需にて前年並みの価格まで上昇する見込みであり、年始相場も例年並み。
他	生そば	(道内産) 高値 (輸入もの) 前年並み	道内産そば粉使用麺は高値。(天候不順により平年の3分の2の収穫量のため) 輸入そば粉使用麺は前年並みからやや高値。 (中国産が天候不順により減産となり少し影響がでそう)
	そば粉	(道内産) 高値 (輸入もの) 前年並み	道内産そば粉は高値。(天候不順により平年の3分の2の収穫量のため) 輸入そば粉は前年並みからやや高値。(中国産が天候不順により減産となり少し影響がでそう)

平成21年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
食 料 品	ラーメン	(道内産) 高値 (輸入もの) 前年並み	道内産小麦使用麺については高値。(今年の道内産小麦は10月より38%値上げ、また天候不順により収量は当初契約に対し66%の製品出荷となったため高値になる) 輸入小麦使用麺について前年並み(麦類の政府売渡制度により、昨年までのトータル51%の値上げに対し、今年は38%の値下げ。値上げ分を価格に転嫁できていないところが多いため)
	小麦粉	安値(輸入もの)	小麦の世界相場は落ち着きつつあるが、小幅で乱高下を続けており、先の予測がつかない状況が続くと考えられる。
	パン	やや安値	小麦、油脂をはじめとする諸原材料の価格は下がりつつあるが、依然として原料価格の水準は高めで推移している。 食パンの消費量は前年並み、菓子パンはやや増加しているが、低価格商品へのシフトなど平均価格が下がっている。
石 油 製 品	灯油	安値	昨年急騰以降、電気やガスに燃料転換が進み、加えて暖冬の影響で在庫量は充分確保されている。
	レギュラーガソリン	前年並み	灯油同様、昨年の高騰による節約志向の浸透、経済不況による買い控え、環境対応車の普及等、減販が進み、元売会社では減産しているが在庫量は充分。
	軽油	やや安値	灯油同様、昨年の高騰による節約志向の浸透、経済不況による買い控え、環境対応車の普及等、減販が進み、元売会社では減産しているが在庫量は充分。
	プロパンガス	前年並み	輸入価格の上昇により値上げが予想されるが、小幅であり前年並みで推移すると見込まれる。供給量は確保されており、供給不足の懸念はない。

※ 価格見通しの用語基準

前年並み	=	前年同期比±5%未満
やや安値・やや高値	=	前年同期比±5~15%未満
安値・高値	=	前年同期比±15%以上